



「最初はお客さまが購入してくれるだけで嬉しかったです。でも次第に、私を覚えてくれて、頻繁に会いに来てくれるようになった。そのような方が楽しそうに笑顔で品物を手に取ってくれることが多くなったんです。」そんな実感の中から素直にやりがいを感じた永田さん。これまでの画面での情報発信だけでなく、お客さまと直接向き合える飲食店業を通して武雄の特産品を発信したい、と芽生えた強い気持ちがある。その半年後のカフェ設立に繋がったという。

2014年7月9日 佐賀新聞 朝刊